



家族に感謝、職場に感謝

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 松本 哲朗 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号丸越ビル6F
幹事 杉本 忠夫 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

インスピレーションになろう

<2018-19年度R.I.テーマ>
R.I.会長 パリー・ラシン

第1712回例会

青少年奉仕月間

令和元年5月16日(木)

外部卓話

於 名古屋東急ホテル

会員 56名

出席計算数

46名中40名出席

出席率 86・96%

前及前回出席率 100%

例会プログラム

★春日井会員

・ロータリー地域社会共同隊(RCC) 結成記念例会について

★渡辺次年度社会奉仕委員長

・次年度社会奉仕地区補助金事業 短期交換留学プログラム案内

★林親睦活動委員長

・最終夜間例会案内

★外部卓話

ロータリーソング

「それでこそロータリー」

指揮者 鬼頭 茂成
ピアノ伴奏 富根 玲子

ゲスト

社会医療法人宏潤会

名誉理事長 吉川 公章さん
(名古屋南R.C.)

ミニボックス

本日卓話させていただきます。

社会医療法人宏潤会

名誉理事長 吉川 公章さん
(名古屋南R.C.)

吉川公章さん、医療制度改革の話

勉強させてもらいます。

松本 哲朗・杉本 忠夫

飛距離、スコア、ルールにこだわらず、ベテランキャディーに恵まれ楽しいゴルフが出来ました。

荻巣 賢一

初めてコンペに参加させていただきました。ありがとうございました。ありがとうございます。

木村 吉伸

何が起ったのかゴルフ繰り上げ優勝でした。

川合 美幸

吉川公章さん今日は楽しめました。

鬼頭 茂成・高木 政義

杉浦 令淑・田崎 雅三

岡村 隆徳・加藤巴千彦

丹下 富博・林 順治

吉川先生卓話よろしくお願ひします。今日43回目の結婚記念日です。

春日井和良

木村地区国際奉仕委員長、ネパール・パキスタン奉仕活動、ご苦労さまでした。

堀江 英弥

地区国際奉仕委員会でネパール・パキスタンへ行って来ました。只疲れました。

木村 光徳

ゴルフまだまだです。次回頑張ります。

草野 勝彦

荻巣さん・川合さんご両人、ゴルフ会優勝おめでとうございます。

吉田 隆彦

ゴルフ例会11番ミドルホールでパーティーをとりました。酒井 修

取り切り戦準備できてきました。ありがとうございました。

中原 康雄

荻巣さん、中原さんおめでとうございます。

ございます。川合さんも...

川島 勇基

ゴルフ部会、初参加しました。楽しめました。ありがとうございます。

仲林 宏昌

会長挨拶

松本 哲朗

「がーまろちよば」

「がーまろちよば」をご存知でしょうか。サイレントコメディとい

って、言葉は発せず小道具を使ったりしてコントを行う二人組の

大道芸人です。二人ともサンクラ

スにモヒカンで、鶏冠の部分が一人は黄色もう一人が赤です。テ

レビの子供番組にもレギュラー出演

してましたのでご存知の方もいらっしゃる

かと思えます。

大須の大道町人祭りに来ていて

見に行ったことがあります。2004年から2006年の間で

当時はまだ日本での知名度が低かった

のですが、海外、特にヨーロッパ

では有名で、いろいろ賞も取った

りしています。何しろ言葉の壁

がないのが強みです。今年の2月に「笑点」

に出ていましたが、3月になつたら

赤い鶏冠の方が新しいことが

やりたいたいということ

で脱退して、20年ほど続いた「ンビ

」が今月から黄色一人で活動し始め

ました。

「がーまろちよば」とは、東ヨーロッパ

のジョーシアという国(少し前まで

グルシアと呼ばれていま

した)の言葉で「ごん」が「ごん」という意味です。大関復帰を目指して今場所10勝以上している栃ノ心の生まれ故郷です。7月の名古屋場所所栃ノ心に会ったら「がーまろちよば」と声をかけると「たぶんがーまろちよば」と応えてくれると思います。

卓話

「医療制度改革」

社会医療法人宏潤会

名誉理事長 吉川 公章さん
(名古屋南R.C.)

最近病院へ入院してもすぐ退院させられたり、別の病院へ移動してリハビリするように勧められるなどご自身が経験されたり、身近な方からお聞きになったことは

ありませんでしょうか。もちろん早く元気になって帰宅するのは当



然ですが、まだ元気がならないうち「退院を勧められるのはどうしてでしょうか？」

医療の劇的な進歩の成果で元気に退院できるのは喜ばしいことですが、ひとまず命の危機は去ったもののまだ十分元気がない時期に退院するのと言われるのは辛いものがあります。しかしこれは病院だけの都合ではなく、実は国を挙げての医療供給体制の変革が行われていることも理由の一つです。

2025年には団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、50歳以上の高齢者が人口の半数以上となり、2030年には就業者人口が減少に転じると予想されています。世界に類を見ない勢いで少子高齢化が進んでいます。

しかし医療費は医療の高度化、高齢者人口増による自然増と合わせ、年間1兆円を超えるレベルで増加していきます。ちなみに2017年の社会保障費は120兆円、医療費は約40兆円、介護費が28兆円です。日本の保険制度はその費用の約30%~40%程度「一般財源からの税金が投入されています。これを一体誰が負担するのでしょつかつたところ消費税率が10%になってもこの間に合いません。誰が考えても増え続ける医療、介護費用を今まで通りの体制でまかなっていくことはできません。

我が国が誇る国民皆保険制度の

も、医療の質を維持して医療供給体制の持続可能性を維持するために考えられた方法が、医療機能の分化と連携、地域包括ケアシステムの導入です。

医療機関の分化と連携とは、1つの病院で治療を完了するのではなく、機能の異なる病院等が連携して医療を行うことです。この病院間に上下関係はなく、機能別に対等であることも大切です。



現在生活習慣病、がん、心筋梗塞など、急性期を経過して退院しても治るわけではなく退院後も引き続きケアが必要な疾患が数多く存在します。在宅での医療・ケアの継続が必要です。住み慣れた地域で医療・介護・福祉を動員して支えるのが「地域包括ケアシステム」です。「地域包括ケアシステム」とは聞きなれない言葉かと思いますが、医療界ではキーワードの一つです。

中学校区区域程度の地域別に、住み慣れた住居中心のかかりつけ医療支援、生活支援、福祉政策などを包括的に整備していき、急性期の医療が必要な時は急性期病院が担当して、治療後速やかに住み慣れた地域での生活ができるように医療介護福祉機関同士が連携して取り組むのが考えです。

2013年に制定された当時の

自民党と民社党が共同提出した社会保障と税の一体改革はご存知かと思えます。これに沿って改革が着実に進められており、団塊の世代が全員75歳以上となる2025年にむけ、今年はいよいよ医療供給体制改革の最終段階に入っています。

病院は全国で8,000以上あり、病床（入院用のベット数）総数は130万床以上もあります。これが約30%程度結果的に削減されることされています。特に急性期病床は大幅に削減していくとされています。

無理矢理病床の削減はできませんので、地域の医療ニーズの特性などに応じて、病院機能調整会議で関係者が十分協議したうえで、自主的に新たな医療供給体制を作り上げようとするものです。

自治体病院は医療費収入以外に自治体からの補助金を投入しても約9割が赤字運営と言われています。俗に言う「コンビニ企業」のようですが、地域から医療を無くすわけにはいかないなどの事情もありまます。全国的に地域医療を残すために病院の統合・再編が急速に進行中です。民間も3割程度が赤字と言われており、都市部では機能分化の流れに合わない急激な患者減に見舞われ閉院する病院もみられ、病院が消えるなどと報道されています。

今日日本の医療に与える国民の評価は必ずしも良いとは言えません。しかし国際的に医療状況を評価していくと、日本の医療はかなり優れていると言われています。引き続き今ある医療の質を落とすわけにはいきません。

医療提供者が多いと、医療サービスの提供量が最大限に増加すると言われています。通常の消費活動では供給過剰になるだけで、過剰設備は自然淘汰されていきます。医療では医療者と患者側の非対称性が強く、フリーアクセス、負担額が少ないほど、病院が増えれば増えるほど、医療サービスは増加していくと言われています。現在外来診療は出来高払い制度ですが、一定の疾患に一定の金額しか支払わない包括払い制度などが医療費削減に向けて導入される可能性は排除できません。

現在の日本の医療は質、アクセス、コストとも理想的な医療提供体制が構築されています。今後持続して行くことは難しいのですが、医療の質を維持して今後適切な医療介護を地域社会に提供し続けていくために、今後さらに、今後さらになる効率



化による「コスト削減、機能分化が推進されると予想されます。結果として我が国の医療の特徴の一つでもある医療機関へのフリーアクセスがある程度制限されることも覚悟する必要があると言われています。

5月30日(木) 例会の案内
例会変更 同日同時刻
職業奉仕委員会
「キリンビール
名古屋工場見学」
於 キリンビール名古屋工場
(清須市寺野花野100)
10時15分発、愛知芸術文化
センター南集合(10時30分出發)
*貸切りバスにて移動 例会工場
見学後15時15分頃乗解散

6月6日(木) 例会の案内
SPEAK OUT DAY

6月13日(木) 例会の案内
新入会員卓話
「仲林の活動 発表します」
仲林 宏喜さん
「私の履歴書」
木村 吉伸さん

公共イメーション向上委員会
前田 隆久・杉浦 令淑
川畑 博敏・竹林 正人
*本文は、原則 頂いた
原稿を転載しています。